

相模野病院地域連絡協議会における意見を踏まえた対応状況

協議会開催日	構成員の意見	対応状況
平成 30 年 2 月 15 日 (第 6 回)	外来の待ち時間について、患者が順番を飛ばされたように感じるケースがあり、患者満足度にも影響するため工夫してほしい。	患者満足度調査の結果を踏まえ、外来待ち時間を病院の課題として継続的に把握し、紹介患者を優先する診療体制や逆紹介の推進等に取り組んでいる。
平成 30 年 2 月 15 日 (第 6 回)	人間ドックについて、利用状況を知らせるとともに、制度を積極的に PR してほしい。	個別保健指導を人間ドックのコースの一部として実施し、保健指導実施率は 74.5%となっている。
平成 30 年 7 月 19 日 (第 7 回)	高齢者が通院しやすいよう、コミュニティーバスの利用・運営に引き続き協力してほしい。	コミュニティーバスについては、広告掲載等協力をしている。
平成 30 年 7 月 19 日 (第 7 回)	地域の開業医等と連携し、少子高齢化に対応した地域医療を進めてほしい。	紹介・逆紹介を継続して推進し、地域の医療機関との病病・病診連携を強化している。
令和元年 7 月 18 日 (第 9 回)	市民公開講座等の広報について、自治会の地域情報誌を活用してはどうか。	自治会回覧板による周知に加え、各自治連合会が作成する地域情報誌への掲載・告知を行うこととした。
令和元年 7 月 18 日 (第 9 回)	病院からも地域の医療機関に対して、病院の現状や地域の医師に求めることを積極的に伝え、相互に情報共有してほしい。	地域連絡協議会のほか、地域連携セミナー等を継続し、地域の医療機関との情報共有・連携強化に取り組んでいる。
令和 5 年 2 月 16 日 (第 16 回)	救急医療、小児・産科救急について、病院間の連携体制を検討してほしい。	NICU・GCU では他医療機関からの母体搬送及び新生児搬送を受け入れ、地域周産期母子医療センターとしての役割を継続している。
令和 5 年 7 月 20 日 (第 17 回)	外来の待ち時間が長い場合、紹介・逆紹介の推進が待ち時間短縮につながっているか検証し、改善してほしい。	紹介患者を優先する体制の整備を進め、待ち時間短縮に取り組むこととしている。

協議会開催日	構成員の意見	対応状況
令和 5 年 7 月 20 日 (第 17 回)	膵がんドックを推進し、膵がんの早期発見につなげてほしい。	令和 5 年 8 月から膵がんドックを開始した。リスク因子の多い方を対象に検査を行い、異常が認められた場合は保険診療に切り替えて外来で経過観察する体制としている。その後も健診センターにおいて膵がんドックを継続している。
令和 5 年 7 月 20 日 (第 17 回)	独居高齢者等が必要なときに入院できるよう、地域の医療機関として受入先となしてほしい。	地域の医療機関と連携し、必要時には入院を受け入れ、病状安定後は往診や地域の医療機関・施設につなぐなど、近隣病院と協力して対応していく方針としている。
令和 6 年 2 月 15 日 (第 18 回)	産後の母親の精神的不調や育児不安に対して、病院と行政が連携した支援を充実してほしい。	支援が必要な母親について医師を含めたカンファレンスを行い、本人の了承を得た上で地域の保健師等につないでいる。また、保健師との連絡会にも定期的に参加している。産後ケア事業についても、母親の心理的支援、育児指導、社会資源の紹介等を実施している。
令和 6 年 2 月 15 日 (第 18 回)	精神科を受診している妊産婦が服薬情報を申告しない場合等もあるため、薬剤情報について注意してほしい。	診療時に十分注意して対応することとした。
令和 6 年 7 月 18 日 (第 19 回)	地域の福祉活動・地域づくりに、医療機関として協力してほしい。	地域の関係機関との連携を継続している。
令和 7 年 2 月 20 日 (第 20 回)	地域包括ケア病棟で実施しているレクリエーションについて、筋力や ADL 等への効果を検証してほしい。	効果の検討について検討する。
令和 7 年 2 月 20 日 (第 20 回)	在宅患者の服薬管理について、院外処方や薬剤師による在宅訪問も活用し、地域薬剤師と連携してほしい。	退院時の内服・インスリン管理については院内薬剤師が指導している。
令和 7 年 7 月 17 日 (第 21 回)	救急隊・救急救命士の病院研修を引き続き受け入れてほしい。	救急隊員の病院研修について、従前から受入れを実施している。今後も消防局との連携の一環として協力を継続する。
令和 8 年 2 月 19 日 (第 22 回)	鎮静剤を使用した内視鏡検査を実施していることを、患者が安心して検査を受けられるよう、もっと周知してほしい。	タウンニュースやホームページを活用し周知している。

協議会開催日	構成員の意見	対応状況
令和 8 年 7 月 16 日 (第 23 回)	患者は医師だけでなくスタッフとも話したいと感じている。スタッフの声掛けや相談しやすい対応は病院の強みになるため、積極的に発信してはどうか。	患者への声掛け・丁寧な対応については、患者満足度でも評価を受けている。